



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社 大真空
コード番号 6962 URL <https://www.kds.info>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 実

問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 財務本部 本部長 (氏名) 林 邦春

TEL 079-426-3211

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日

配当支払開始予定日

2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	38,430	7.0	4,210	19.0	5,106	22.0	3,208	16.6
2022年3月期	41,306	24.5	5,194	148.7	6,547	158.5	3,848	214.6

(注) 包括利益 2023年3月期 4,021百万円 (46.6%) 2022年3月期 7,537百万円 (75.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	99.41		9.3	6.2	11.0
2022年3月期	119.21		12.6	8.7	12.6

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

当社は2021年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	83,622	43,182	42.9	1,112.24
2022年3月期	81,317	40,231	40.7	1,026.09

(参考) 自己資本 2023年3月期 35,901百万円 2022年3月期 33,121百万円

当社は2021年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	5,859	6,524	1,298	18,437
2022年3月期	8,762	5,176	382	18,516

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		25.00		12.00		589	15.3	1.9
2023年3月期		14.00		14.00	28.00	903	28.2	2.6
2024年3月期(予想)								

当社は2021年11月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を実施しております。2022年3月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しておりますので、年間配当金合計は「-」として記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当金は1株当たり48円、年間配当金は1株当たり73円となります。

現時点では、2024年3月期の配当予想は未定です。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	6.3	1,500	64.4	1,200	76.5	650	79.7	20.14

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期	36,196,968 株	2022年3月期	36,196,968 株
----------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期	3,918,416 株	2022年3月期	3,917,336 株
----------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数

2023年3月期	32,279,113 株	2022年3月期	32,280,506 株
----------	--------------	----------	--------------

2021年11月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	30,651	0.6	2,754	29.1	4,107	6.8	3,059	4.9
2022年3月期	30,851	27.8	2,134	861.5	3,845	221.6	3,216	267.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	94.78	
2022年3月期	99.65	

当社は2021年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	60,957	32,772	53.8	1,015.31
2022年3月期	59,768	30,534	51.1	945.93

(参考) 自己資本 2023年3月期 32,772百万円 2022年3月期 30,534百万円

当社は2021年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

2023年5月29日開催予定の決算説明会後、当社ホームページに記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2022年4月1日～2023年3月31日）における経済情勢は、各国のインフレ進行に対する金融政策などにより、景気には減速感が見られました。また、為替相場の変動に加え、半導体不足の長期化、ウクライナ情勢に起因するエネルギー供給リスク問題など、依然として先行き不透明な状況が継続しています。

このような環境の中、当社グループではADAS（先進運転支援システム）の進展などにより車載向けの販売は増加しましたが、通信分野では中国スマホや通信モジュール向けの製品が低調に推移し、民生分野ではテレワーク／巣ごもり需要がピークアウトしたことから、売上高は38,430百万円（前期比7.0%減）となりました。利益面につきましては、売上の減少に伴い、営業利益は4,210百万円（前期比19.0%減）となりました。為替差益809百万円を営業外収益に計上し、経常利益は5,106百万円（前期比22.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,208百万円（前期比16.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産は83,622百万円であり、前連結会計年度末と比較して2,304百万円増加しております。これは主に建設仮勘定の増加などによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は40,439百万円であり、前連結会計年度末と比較して646百万円減少しております。これは主に支払手形及び買掛金の減少などによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は43,182百万円であり、前連結会計年度末と比較して2,951百万円増加しております。これは主に利益剰余金の増加などによるものであります。

これらにより自己資本比率は2.2ポイント増加して、42.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計期間の連結キャッシュ・フローの状況は、それぞれ次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5,859百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,524百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,298百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入などによるものであります。

これらの結果、当連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計期間末に比べ79百万円減少し、当連結会計期間末には18,437百万円となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率	43.6%	39.8%	40.6%	40.7%	42.9%
時価ベースの自己資本比率	14.7%	19.0%	29.1%	48.0%	28.1%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	20.7年	35.6年	9.7年	3.2年	5.3年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	7.8	5.7	23.7	66.7	28.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（4）今後の見通し

今後の経済環境におきましては、各国のインフレ進行に対する金融政策の継続やウクライナ情勢に端を発するエネルギー資源のさらなる高騰、その他地政学リスクなどが懸念され、依然として経済活動の安定化には時間を要すると思われま

す。当社グループを取り巻く環境としては、スマホや無線通信モジュールなどの通信市場やPC/周辺機器などの民生市場において停滞感が継続しており、車載市場における半導体不足の解消にも一定の時間を要する見込みです。また、景気停滞に伴い設備投資が抑制傾向にあることから産業市場の動きも鈍化しています。

そのような市場環境におきまして、当社グループではインドマーケットの新規開拓や欧州の産業市場、米国のデータセンタ市場およびワールドワイドの電気自動車におけるシェアアップなど、当社オリジナルの「Arkシリーズ」や、その技術を応用した「モールドタイプ製品」をはじめとする新たな製品ラインアップを武器にマーケットポートフォリオを見直すことで業績拡大を目指してまいります。

また、長期的な展望といたしまして、自動運転を含め無線通信が必要不可欠な「IoT」を中心にタイミングデバイスの増加を疑う余地はありません。この増え続ける需要に対し、今期に最終年度を迎える第一中期経営計画「基盤整備」の中で生産設備の増強や第二中期経営計画「基盤確立」に向けた準備などを進めてまいりました。今後も「つながる社会」に必要なタイミングデバイスを安定して供給できる体制作りを構築してまいります。さらに、生産数量に比例し増加するCO₂排出量の抑制から、回収／分離といったカーボンニュートラルに向けた新たな取り組みにチャレンジし、重要課題と考えている「安定供給」と「環境対応」の実現に努め、当社オリジナルの新たな価値を創造してまいります。

最後になりますが、当社グループは経営ビジョンに『「信頼」を合言葉とし、「人と人のつながり」を大切にす精神をもとに、社員全員の瞳が輝く企業を目指す』を掲げています。社員全員が瞳を輝かせながらイキイキと働ける環境と仕組み作りが非常に大切だと考えており、「キモチヨク働く」と「オモシロク働く」の2つの側面からアプローチし、様々な取り組みを推進しています。また、「インテグリティ」の浸透にも力を入れて取り組んでおり、様々な場面で教育を実施しています。最終的には個人だけではなく組織としてのインテグリティも高めながら、確固たる信頼関係を構築し、サステナブル企業として一体感のある「Team 大真空」を目指してまいります。次期の連結業績見通しにつきましては、売上高36,000百万円、営業利益1,500百万円、経常利益1,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益650百万円を予測しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、引き続き日本基準を採用することとしております。今後のIFRS（国際財務報告基準）の適用については、グローバル展開・内外の情勢等を踏まえながら検討しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,516,683	18,517,098
受取手形及び売掛金	9,940,268	9,514,449
契約資産	204,417	173,175
有価証券	—	39,854
商品及び製品	5,839,701	7,221,518
仕掛品	4,976,962	5,292,225
原材料及び貯蔵品	5,716,907	4,660,821
その他	1,864,112	1,301,442
貸倒引当金	△9,478	△9,087
流動資産合計	47,049,574	46,711,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,557,199	20,115,710
減価償却累計額	△16,390,366	△16,982,831
建物及び構築物 (純額)	3,166,833	3,132,878
機械装置及び運搬具	54,306,594	57,375,564
減価償却累計額	△41,772,996	△44,305,708
機械装置及び運搬具 (純額)	12,533,597	13,069,856
工具、器具及び備品	6,076,312	6,576,767
減価償却累計額	△5,107,177	△5,426,445
工具、器具及び備品 (純額)	969,135	1,150,322
土地	5,803,771	5,920,297
リース資産	906,815	1,000,153
減価償却累計額	△396,786	△585,168
リース資産 (純額)	510,029	414,984
建設仮勘定	4,701,569	6,896,838
有形固定資産合計	27,684,936	30,585,178
無形固定資産	569,853	1,184,714
投資その他の資産		
投資有価証券	3,276,853	2,812,160
長期貸付金	1,548	1,285
退職給付に係る資産	720,102	678,734
繰延税金資産	800,879	756,688
その他	1,241,887	919,991
貸倒引当金	△27,800	△27,800
投資その他の資産合計	6,013,470	5,141,060
固定資産合計	34,268,259	36,910,953
資産合計	81,317,834	83,622,452

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,882,669	1,827,047
短期借入金	3,199,497	2,361,569
1年内返済予定の長期借入金	6,346,612	9,658,529
リース債務	196,001	254,663
未払金	3,610,751	2,659,707
未払法人税等	1,335,991	976,237
契約負債	807	11
賞与引当金	724,959	800,654
役員賞与引当金	15,000	—
その他	1,349,251	927,382
流動負債合計	20,661,542	19,465,802
固定負債		
長期借入金	17,769,476	18,390,443
リース債務	330,669	173,217
繰延税金負債	1,008,881	1,135,633
退職給付に係る負債	1,092,986	1,048,161
長期未払金	93,247	77,838
資産除去債務	27,379	27,837
その他	102,634	120,898
固定負債合計	20,425,275	20,974,031
負債合計	41,086,817	40,439,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,344,883	19,344,883
資本剰余金	7,168,224	7,172,364
利益剰余金	4,131,434	6,500,970
自己株式	△1,928,693	△1,929,648
株主資本合計	28,715,849	31,088,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,287,673	1,069,484
為替換算調整勘定	2,551,740	3,318,351
退職給付に係る調整累計額	566,533	425,069
その他の包括利益累計額合計	4,405,948	4,812,905
非支配株主持分	7,109,218	7,281,144
純資産合計	40,231,016	43,182,619
負債純資産合計	81,317,834	83,622,452

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	41,306,270	38,430,954
売上原価	29,081,664	26,788,733
売上総利益	12,224,605	11,642,221
販売費及び一般管理費	7,029,667	7,432,201
営業利益	5,194,937	4,210,019
営業外収益		
受取利息	43,661	76,291
受取配当金	56,850	78,406
為替差益	1,317,446	809,247
その他	240,212	289,760
営業外収益合計	1,658,171	1,253,705
営業外費用		
支払利息	131,381	209,573
支払補償費	45,810	—
支払手数料	90,909	—
その他	37,096	148,051
営業外費用合計	305,197	357,624
経常利益	6,547,911	5,106,100
特別利益		
固定資産売却益	14,022	13,607
投資有価証券売却益	—	46,631
特別利益合計	14,022	60,239
特別損失		
固定資産売却損	22	0
固定資産除却損	201,381	431
減損損失	293,525	38,102
投資有価証券売却損	470	—
特別損失合計	495,400	38,533
税金等調整前当期純利益	6,066,534	5,127,806
法人税、住民税及び事業税	1,408,395	1,431,647
過年度法人税等	69,017	—
法人税等調整額	△314,045	145,886
法人税等合計	1,163,368	1,577,533
当期純利益	4,903,165	3,550,272
非支配株主に帰属する当期純利益	1,054,875	341,473
親会社株主に帰属する当期純利益	3,848,289	3,208,798

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	4,903,165	3,550,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	656,068	△451,246
繰延ヘッジ損益	104,639	-
為替換算調整勘定	1,931,384	1,045,157
退職給付に係る調整額	△57,848	△122,223
その他の包括利益合計	2,634,244	471,687
包括利益	7,537,409	4,021,959
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,624,927	3,615,755
非支配株主に係る包括利益	1,912,482	406,204

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,344,883	7,158,625	686,659	△1,926,323	25,263,844
当期変動額					
剰余金の配当			△403,515		△403,515
親会社株主に帰属する当期純利益			3,848,289		3,848,289
自己株式の取得				△2,411	△2,411
自己株式の処分		85		41	126
連結子会社株式の取得による持分の増減		9,514			9,514
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	9,599	3,444,774	△2,369	3,452,004
当期末残高	19,344,883	7,168,224	4,131,434	△1,928,693	28,715,849

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	953,861	△104,639	1,155,327	624,761	2,629,311	5,876,399	33,769,556
当期変動額							
剰余金の配当							△403,515
親会社株主に帰属する当期純利益							3,848,289
自己株式の取得							△2,411
自己株式の処分							126
連結子会社株式の取得による持分の増減							9,514
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	333,812	104,639	1,396,413	△58,227	1,776,637	1,232,819	3,009,456
当期変動額合計	333,812	104,639	1,396,413	△58,227	1,776,637	1,232,819	6,461,460
当期末残高	1,287,673	-	2,551,740	566,533	4,405,948	7,109,218	40,231,016

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,344,883	7,168,224	4,131,434	△1,928,693	28,715,849
当期変動額					
剰余金の配当			△839,263		△839,263
親会社株主に帰属する当期純利益			3,208,798		3,208,798
自己株式の取得				△964	△964
自己株式の処分		13		9	23
連結子会社株式の取得による持分の増減		4,126			4,126
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	4,139	2,369,535	△955	2,372,720
当期末残高	19,344,883	7,172,364	6,500,970	△1,929,648	31,088,569

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,287,673	2,551,740	566,533	4,405,948	7,109,218	40,231,016
当期変動額						
剰余金の配当						△839,263
親会社株主に帰属する当期純利益						3,208,798
自己株式の取得						△964
自己株式の処分						23
連結子会社株式の取得による持分の増減						4,126
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△218,189	766,610	△141,464	406,956	171,925	578,881
当期変動額合計	△218,189	766,610	△141,464	406,956	171,925	2,951,602
当期末残高	1,069,484	3,318,351	425,069	4,812,905	7,281,144	43,182,619

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,066,534	5,127,806
減価償却費	3,494,563	3,993,066
長期前払費用償却額	76,167	76,167
減損損失	293,525	38,102
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,991	△969
賞与引当金の増減額 (△は減少)	324,093	75,735
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,000	△15,000
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△234,226	41,368
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△25,689	△201,533
受取利息及び受取配当金	△100,512	△154,697
支払利息	131,381	209,573
為替差損益 (△は益)	△372,765	252,538
投資有価証券売却損益 (△は益)	470	△46,631
有形固定資産売却損益 (△は益)	△14,000	△13,607
有形固定資産除却損	192,881	431
売上債権の増減額 (△は増加)	197,848	951,019
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△724,754	△213,946
仕入債務の増減額 (△は減少)	287,930	△2,497,969
その他	△30,594	100,537
小計	9,575,861	7,721,990
利息及び配当金の受取額	100,512	154,697
利息の支払額	△130,429	△202,929
法人税等の支払額	△783,093	△1,813,914
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,762,851	5,859,844
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△379,670	△81,484
定期預金の払戻による収入	768,607	—
有価証券の取得による支出	—	△40,675
有形固定資産の取得による支出	△5,667,687	△5,808,475
有形固定資産の売却による収入	306,577	28,812
無形固定資産の取得による支出	△137,181	△712,411
投資有価証券の取得による支出	△9,493	△9,799
投資有価証券の売却による収入	37,947	81,249
貸付けによる支出	△200	△480
貸付金の回収による収入	941	625
その他	△96,615	17,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,176,774	△6,524,893

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	619,038	△973,025
長期借入れによる収入	14,335,028	10,575,480
長期借入金の返済による支出	△13,636,157	△6,687,622
リース債務の返済による支出	△131,405	△106,388
配当金の支払額	△401,876	△834,489
非支配株主への配当金の支払額	△308,603	△674,472
自己株式の売却による収入	126	23
自己株式の取得による支出	△2,411	△964
その他	△90,909	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	382,831	1,298,540
現金及び現金同等物に係る換算差額	606,890	△712,915
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,575,798	△79,424
現金及び現金同等物の期首残高	13,940,884	18,516,683
現金及び現金同等物の期末残高	18,516,683	18,437,258

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検証を行う対象となっているものであります。

当社グループは、水晶応用電子部品を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては米国、欧州、中国、台湾、アジアの各地域をDAISHINKU(AMERICA)CORP. (米国)、DAISHINKU(DEUTSCHLAND)GmbH (欧州)、大真空(香港)有限公司(中国)、天津大真空有限公司(中国)、加高電子股份有限公司及びその子会社(台湾)、DAISHINKU(SHINGAPORE)PTE. LTD. (アジア)、DAISHINKU(THAILAND)CO.,LTD. (アジア)、PT.KDS INDONESIA (アジア)が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社の報告セグメントは生産・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」、「欧州」、「中国」、「台湾」及び「アジア」の6つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
顧客との契約から生じる収益 (注) 4	8,238,442	1,498,542	3,150,279	14,772,541	11,353,102	2,293,360	41,306,270	—	41,306,270
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,238,442	1,498,542	3,150,279	14,772,541	11,353,102	2,293,360	41,306,270	—	41,306,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,611,938	61,056	6,703	2,838,184	2,981,057	5,885,941	34,384,881	△34,384,881	—
計	30,850,381	1,559,599	3,156,983	17,610,725	14,334,159	8,179,301	75,691,151	△34,384,881	41,306,270
セグメント利益	2,153,289	20,834	59,858	471,700	2,650,217	93,412	5,449,313	△254,375	5,194,937
セグメント資産	47,864,380	822,220	1,281,348	12,088,652	25,661,114	7,207,784	94,925,501	△13,607,666	81,317,834
その他の項目									
減価償却費	1,562,327	1,520	2,067	149,599	1,028,890	426,946	3,171,352	△21,145	3,150,207
減損損失	266,634	—	—	—	26,891	—	293,525	—	293,525
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	2,796,879	—	3,529	755,983	2,855,247	874,859	7,286,499	△9,528	7,276,971

- (注) 1. 調整額は、以下の通りであります。
- (1) セグメント利益の調整額△254,375千円には、セグメント間取引消去12,117千円、その他の調整額△266,493千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額△13,607,666千円には、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△12,922,286千円、その他の調整額△685,380千円が含まれております。
 - (3) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主として未実現利益の消去であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
- (1) 北米……………米国
 - (2) 欧州……………ドイツ
 - (3) アジア……………インドネシア、シンガポール、タイ
4. 繰延ヘッジ損益から生じる収益は、金額的重要性が乏しいため顧客との契約から生じる収益に含めております。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
顧客との契約から生じる収益	8,134,899	1,755,999	3,654,095	13,042,475	9,066,248	2,777,236	38,430,954	—	38,430,954
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,134,899	1,755,999	3,654,095	13,042,475	9,066,248	2,777,236	38,430,954	—	38,430,954
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,513,681	51,069	9,746	4,362,702	2,765,750	6,780,264	36,483,215	△36,483,215	—
計	30,648,580	1,807,068	3,663,842	17,405,177	11,831,999	9,557,501	74,914,170	△36,483,215	38,430,954
セグメント利益	2,780,712	2,307	52,890	538,980	658,520	220,808	4,254,219	△44,199	4,210,019
セグメント資産	48,925,502	957,853	1,471,131	10,961,290	25,886,795	7,664,979	95,867,552	△12,245,099	83,622,452
その他の項目									
減価償却費	1,405,373	305	3,712	170,472	1,287,534	716,734	3,584,132	△20,098	3,564,034
減損損失	—	—	—	—	38,102	—	38,102	—	38,102
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,371,138	44,386	6,412	243,420	1,553,969	1,015,677	6,235,004	△4,942	6,230,062

- (注) 1. 調整額は、以下の通りであります。
- (1) セグメント利益の調整額△44,199千円には、セグメント間取引消去17,556千円、その他の調整額△61,756千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額△12,245,099千円には、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△11,494,285千円、その他の調整額△750,814千円が含まれております。
 - (3) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主として未実現利益の消去であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
- (1) 北米……………米国
 - (2) 欧州……………ドイツ
 - (3) アジア……………インドネシア、シンガポール、タイ

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,026.09円	1,112.24円
1株当たり当期純利益金額	119.21円	99.41円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 2021年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	3,848,289	3,208,798
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	3,848,289	3,208,798
普通株式の期中平均株式数 (千株)	32,280	32,279

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	40,231,016	43,182,619
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	7,109,218	7,281,144
(うち非支配株主持分) (千円)	(7,109,218)	(7,281,144)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	33,121,797	35,901,474
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	32,279	32,278

(重要な後発事象)

該当事項はありません。